



津波避難は、高台などの安全な場所への避難が基本となります。津波の到着までに時間が無い場合は、津波一時避難施設（津波避難ビル）へ避難するなど、状況に応じて判断し、避難してください。

津波一時避難施設（津波避難ビル）

名称	所在地
大窪小学校	板橋 985
城南中学校	板橋 875-1
サンサンヒルズ小田原	水之尾 143-1
消防署南町分署	南町 1-9-36
早川小学校	早川 2-14-1
シーサイドハイツ早川	早川 1-3-10
小田原水産合同庁舎	早川 1-2-1

【高台などの津波避難場所】

海蔵寺周辺、JA早川選果場、真福寺、正蔵寺など

神奈川県津波浸水想定図

平成27年3月公表

沿岸⑥ 大窪地区、早川地区

○ この「津波浸水想定」は、神奈川県沿岸に最大クラスの津波をもたらすと想定される5つの地震（相模トラフ沿いの海溝型地震、慶長型地震など）の「津波浸水予測図」を基に、「浸水域」と「浸水深」が最大となるよう、最も厳しい条件を想定しています。

※ 相模トラフ沿いの海溝型地震とは、発生間隔が2千年から3千年もしくはそれ以上と極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす地震です。

※ 詳細については、神奈川県ホームページに掲載されています。

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f532320/>

【留意事項】

- 地面の凸凹や建築物の影響などにより、浸水域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなる場合があります。
- 津波の第一波ではなく、第二波以降に最大になる場合があります。
- 河川内については、津波による水位変化を着色していませんが、津波の遡上等に伴い、実際には水位が変化することがあります。

○ 今後、「津波浸水想定」を踏まえ、県と市町が連携して、津波による災害から住民等の生命を守るための対策に取り組んでいきます。